

全国の情報は国立感染症研究所感染症疫学センターホームページにてご覧ください。 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

## 定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

### 定点あたり患者数の上位10位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	インフルエンザ	20.11	26.67	-6.56	6位	流行性角結膜炎	0.43	0.43	±0.00
2位	感染性胃腸炎	6.59	9.17	-2.58	7位	手足口病	0.23	0.20	+0.03
3位	COVID-19	6.04	9.14	-3.10	8位	RSウイルス感染症	0.15	0.09	+0.06
4位	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	2.59	3.66	-1.07	9位	突発性発しん	0.12	0.10	+0.02
5位	咽頭結膜熱	0.71	0.91	-0.20	10位	水痘	0.08	0.15	-0.07

## インフルエンザに関する情報

### インフルエンザ

定点あたり患者数は、今週 **20.11** 人(先週 26.67 人)となり、減少しました。地域的には、県内17保健所管内中、姫路市、明石市、宝塚、加古川、赤穂、福崎及び洲本保健所管内が警報レベル地域(開始基準値 30.0 人、終息基準値 10.0 人)、神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋、伊丹、加東、龍野、豊岡及び朝来保健所管内が注意報レベル地域(基準値 10.0 人)となっています。

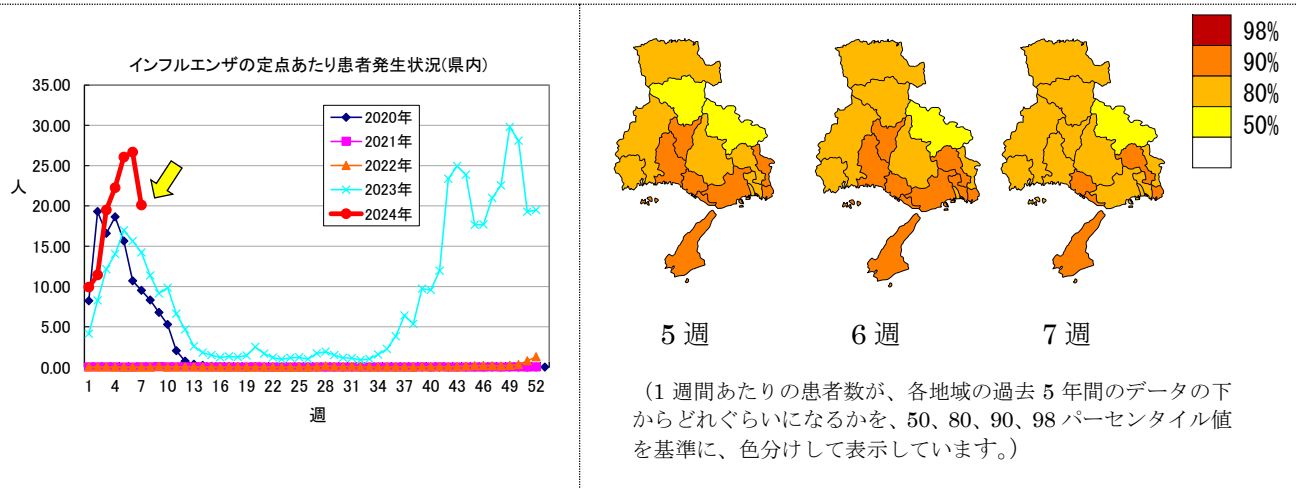
直近の5週間に県内の定点医療機関から報告された患者22,686人の年齢分布では、5~9歳が38%、10~14歳が31%で、15歳未満が全体の82%を占めています。

臨時休業の施設別発生状況では、今週432件(先週685件)の報告がありました。内訳は学年閉鎖55件、学級閉鎖377件、施設別では、幼稚園5件、小学校350件、中学校65件、高等学校7件、その他5件です。

社会福祉施設等においては、今週2件(先週0件)の集団発生が報告されています。

また、当研究所では今シーズン、県内の患者から **AH3亜型(A香港型)** 62件、**AH1pdm09** 46件、**B型(Victoria系統)** 12件のインフルエンザウイルスを検出しています。

定点あたり患者数について、依然として高い状況が続いています。インフルエンザの予防には、ワクチン接種、手洗いが有効です。また、感染が疑われる場合は、マスクの着用、咳エチケット、早めの受診が重要です。

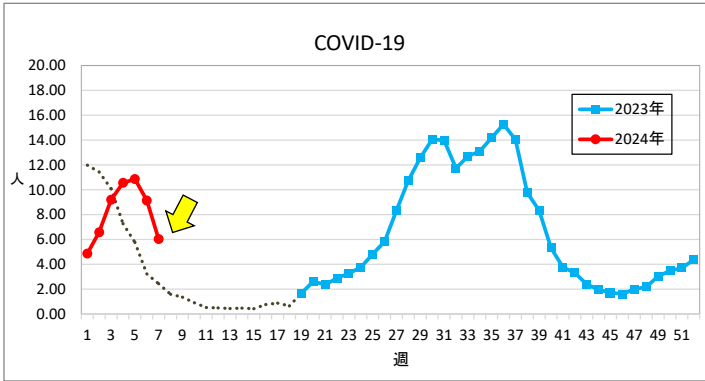


COVID-19（新型コロナウイルス感染症）に関する情報

COVID-19（新型コロナウイルス感染症）

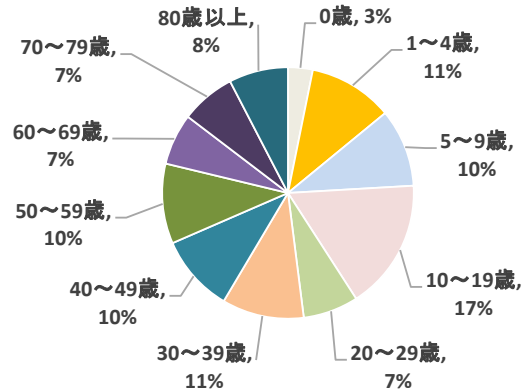
兵庫県内の定点あたり患者数は今週 **6.04** 人（先週 9.14 人）となり、減少しました。  
 地域別では、福崎保健所管内が 18.50 人と最も多く、朝来保健所管内 17.00 人、赤穂保健所管内 10.83 人、宝塚保健所管内 9.00 人となっており、年齢別では、10～19 歳が 17% と最も多く、1～4 歳及び 30～39 歳が各 11%、5～9 歳、40～49 歳及び 50～59 歳が各 10% となっています。  
 また、社会福祉施設等においては、今週 14 件（先週 9 件（追加有））の集団発生が報告されています。  
 県民の皆様には引き続き 3 密の回避、手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用といった基本的な感染症対策をお願い致します。

兵庫県内の定点あたり報告数推移



2023年18週以前の数値はHER-SYSデータに基づく定点医療機関からの患者数（参考値）（国の提供データに基づく）

新規感染者の年齢階級別割合 (第7週)



※2023年5月8日から、新型コロナウイルス感染症は定点把握に変更になりました。

全数把握感染症

1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	<b>結核 21人</b> （保健所：神戸市9人、尼崎市2人、姫路市1人、西宮市2人、明石市2人、宝塚管内2人、加東管内1人、龍野管内2人）
3 類感染症	報告はありません。
4 類感染症	報告はありません。
5 類感染症	<p><b>アメーバ赤痢 1人</b>（神戸市；腸管アメーバ症；男性70歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明）</p> <p><b>カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1人</b>（姫路市；男性50歳代；<i>Klebsiella aerogenes</i>；感染地域：兵庫県；感染経路：医療器具関連感染）</p> <p><b>急性脳炎 1人</b>（神戸市；インフルエンザウイルスA；男性6歳；感染地域：兵庫県；感染経路：不明）</p> <p><b>劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1人</b>（宝塚保健所管内；女性40歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：創傷感染）</p> <p><b>後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む） 2人</b>（①無症状病原体保有者；感染地域：不明；感染経路：不明、②AIDS；感染地域：兵庫県；感染経路：同性間性的接触）</p> <p><b>侵襲性肺炎球菌感染症 4人</b>（①尼崎市；男性80歳代；感染地域：国内；感染経路：不明；ワクチン接種歴：不明、②宝塚保健所管内；女性70歳；感染地域：兵庫県；感染経路：その他；ワクチン接種歴：不明、③加古川保健所管内；男性60歳；感染地域：兵庫県；感染経路：飛沫・飛沫核感染；ワクチン接種歴：1回有、④龍野保健所管内；女性90歳；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：不明）</p> <p><b>梅毒 8人</b>（①神戸市；早期顕症梅毒I期；男性40歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、②神戸市；早期顕症梅毒I期；男性40歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、③神戸市；早期顕症梅毒I期；男性20歳代；感染地域：国内；感染経路：異性間性的接触、④神戸市；無症状病原体保有者；女性30歳代；感染地域：兵庫県；</p>

	<p>感染経路：異性間性的接触、⑤神戸市；早期顕症梅毒Ⅰ期；男性20歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、⑥姫路市；無症状病原体保有者；女性20歳代；感染地域：不明；感染経路：異性間性的接触、⑦明石市；早期顕症梅毒Ⅱ期；女性20歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、⑧伊丹保健所管内；早期顕症梅毒Ⅱ期；男性40歳代；感染地域：国内；感染経路：異性間性的接触)</p> <p><b>百日咳 2人</b> (①神戸市；女性10歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：4回有、②神戸市；男性5歳；感染地域：兵庫県；感染経路：家族内感染；ワクチン接種歴：4回有)</p>
<p>2024年6週までに診断されたものの報告遅れの報告遅れ</p>	<p><b>腸管出血性大腸菌感染症 1人</b>  <b>劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1人</b>  <b>後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む） 1人</b>  <b>梅毒 1人</b></p>

### 目で見る動向（県内）

<p><b>侵袭性肺炎球菌感染症</b></p> <p>このグラフは、2020年から2024年までの10週間の侵袭性肺炎球菌感染症の累積患者数を示しています。2024年のデータ（赤い線）は、7週目で22人に達しています。</p>	<p><b>梅毒</b></p> <p>このグラフは、2020年から2024年までの10週間の梅毒の累積患者数を示しています。2024年のデータ（赤い線）は、7週目で32人に達しています。</p>
<p>今週 <b>4人</b> の報告があり、今年の累積患者数は <b>22人</b> となりました。</p>	<p>今週 <b>8人</b> の報告があり、今年の累積患者数は <b>32人</b> となりました。</p>
<p><b>感染性胃腸炎</b></p> <p>このグラフは、1年間の感染性胃腸炎の定点あたり患者発生状況を示しています。2024年のデータ（赤い線）は、7週目で9.17人から6.59人に減少しています。</p>	<p><b>A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</b></p> <p>このグラフは、1年間のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点あたり患者発生状況を示しています。2024年のデータ（赤い線）は、7週目で3.66人から2.59人に減少しています。</p>
<p>定点あたり患者数は、今週 <b>6.59人</b>（先週 <b>9.17人</b>）と減少しました。今週3件（先週4件（追加有））の集団発生が報告されています。</p>	<p>定点あたり患者数は、今週 <b>2.59人</b>（先週 <b>3.66人</b>）と減少しました。加古川保健所管内が警報レベル地域となっています。</p>

この週報はホームページ ([https://web.pref.hyogo.lg.jp/iphs01/kansensho\\_jyoho/infectdis.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/iphs01/kansensho_jyoho/infectdis.html)) にも掲載しています。

2022年4月1日からHPが新しくなりました。旧HPは閲覧出来なくなりましたのでご注意ください。

また <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html> から国立感染症研究所感染症疫学センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。